



えひめ地域づくり アワード・ユース2021 優秀賞 大洲農業高等学校 3年生果樹班のみなさん

(前列左から)
河野桃華^{ももか}さん 沼田唯奈^{ゆな}さん 横山姫華^{ひめか}さん
(後列左から)
近藤悠晴^{ゆうせい}さん 西山裕貴^{ゆたか}さん 日野陸冬^{りくと}さん
高橋紅霸^{こうは}さん

大洲農業高等学校3年生果樹班のみなさんは、昨年度に開催された「えひめ地域づくりアワード・ユース2021」に「南予発最先端素材セルロースナノファイバーを利用した果樹被覆資材の開発」というテーマで昨年度の3年生とともに応募し、参加した17校21団体の中から見事優秀賞に選ばれました。セルロースナノファイバーとは植物の繊維を微細化した素材で、愛媛大学で研究されている「芭蕉和紙^{ばしやう}」もその一つです。果樹班のみなさんは市内でもよく見られるバショウから作られるこの芭蕉和紙に注目し、これを果実の保護に使用する果実袋に利用できないかと考えました。これについてブドウ栽培で実験したところ、芭蕉和紙は一般的な果実袋に比べて、着色に必要な光をより多く通して果実の色づきが良くなることや、通気性能も向上するという研究結果が得られました。また、商品価値が無く廃棄してしまうブドウの利用方法として、ブドウパンの開発にも取り組みました。「果実の色づきが良くなれば商品価値も上がる。和紙は土に還るエコな素材で、利用が普及すれば大洲和紙が産業として復活することも期待できる」と今後の研究にも自信を覗かせる果樹班のみなさん。「これからもさまざまな研究に取り組み、大農果樹班から地域へどんどん情報発信をしていきたい」と果樹班の未来についても語ってくれました。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.64 大洲高等学校

みなさんこんにちは。大洲高等学校3年の古河 政樹^{まさき}です。

本校1学期の遠足では、1年生は集団校内研修、2年生は富士山、そして私たち3年生は新居浜市にある愛媛県総合科学博物館へ行ってきました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、昼食時の黙食の徹底や分散行動などの制約がありました。しかし、とても大きなプラネタリウムや生き物の進化、さまざまな岩石についての展示、科学の発展の歴史など、興味深いものをたくさん見たり、実際に触ることができ、とても楽しく、有意義な時間になりました。

入学以来、私たちの学校生活や生活様式は制限の多い状態ですが、このように学校行事ができることはとても嬉しくありがたいことです。学業や行事に積極的に取り組み、3年間の高校生活を実り多いものにしていきたいです。



— 一回は大洲高等学校肱川分校からです。 —

五代目肱川橋・親柱除幕式を開催

4月28日(木)、五代目肱川橋の親柱除幕式を執り行いました。完成した親柱※は、四代目肱川橋の取り壊し時にコンクリート橋脚の中から出てきた赤レンガを再利用しています。

小竹良大洲河川国道事務所長は「五代目肱川橋は災害に強く、周辺の景観にも溶け込んだ美しい橋となった。これからもみなさんに愛される橋となるよう心から願っている」と話しました。

※手すりを支える太い柱



四国アドベンチャーラリーを開催

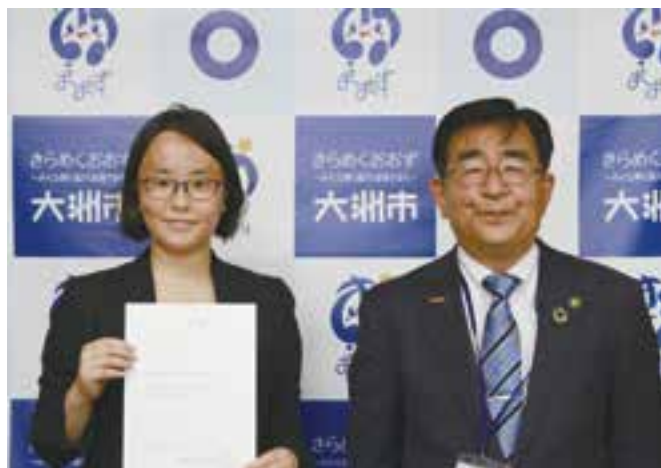
5月1日(日)、オフロードバイクのツーリングイベントである四国アドベンチャーラリーが肱川河川敷をメイン会場として開催されました。日本各地から460人を超える参加者が集まり、出石寺方面と神南山方面の林道をメインとした2コースを駆け抜けました。主催者側は「大洲市は市内部から林道が近く、また林道の距離が長い。これは全国でも例を見ない。地域のみなさんの理解を得ながら今後も続けていきたい」と意気込みを語りました。



地域おこし協力隊へ辞令交付

5月6日(金)、地域おこし協力隊の山本有華さん(36歳)に辞令交付をおこないました。山本さんは神奈川県出身で、ドイツの日本大使館で通訳の仕事などを経験された後に大洲へ移住されました。

これから地域おこし協力隊として農林水産課に所属し、6次産業化やグリーンツーリズム振興支援などの業務をおこないながら、自身も就農や宿泊施設の開業などにも取り組んでいきます。



うかい宣伝隊出発式

6月1日に開幕するうかいを広くPRしようと、大洲市観光県内訪問宣伝隊の出発式が5月17日(火)に大洲市役所でおこなわれました。大洲市観光協会の藤岡周二会長をはじめとする宣伝隊の6人は「多くのお客さんに来てもらうようにしっかり宣伝していきたい」と語り、県庁や各報道機関へ向けて出発しました。うかいは新型コロナウイルスの影響により昨年、一昨年と開催期間が短縮されましたが、今年のうかいは3年ぶりに通常期間で開催される予定です。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



特産品の開発に向けて

大洲市の新たな特産品にしようと、3月に定植されたラディッキオ（イタリア野菜）の収穫作業が5月19日(休)におこなわれました。今回、試験的に栽培されたラディッキオは苦さを楽しむ大人向けの野菜で、栽培に取り組んだ大洲市青年農業者協議会の藤田^{よしひろ}祥広さんは「天候にも恵まれ順調に育った。」JAなどと協力しながら、まずは県内に販路を広げたい。産直市などで見かけたらぜひ手に取って欲しい」と語りました。



エコラブトマト収穫最盛期

大洲市の特産ブランドである「エコラブトマト」の収穫が最盛期を迎え、5月20日(金)に第20回トマト品評会が開催されました。

今年は冬場の低温や暖房の燃料となる原油の価格高騰の影響を受け、例年より出荷が遅れていますが、12月までに635tの出荷を見込んでいます。生産者の矢野^{まさかず}正祥さんは「甘味と酸味のバランスがとれたトマトに仕上がった」と出来栄を語りました。



長浜高校×地元商店コラボ企画第3弾

長浜高校の生徒が授業の一環で発案した、地元の和菓子に長高水族館の生き物を焼印としてデザイン・販売するコラボ企画の第3弾が登場。5月21日(土)に和菓子店で生徒による販売がおこなわれました。カクレクマノミ、クラゲに続き今回のハマチをデザインした水族館部の二宮^{つばさ}翼さんは「この企画を通して地元の商品を知ってもらい、長高水族館を訪れたお客さんに長浜の商店街へも足を運んで欲しい」と話していました。



おしどり湖ドラゴンボート大会を開催

5月22日(日)、おしどり湖（鹿野川ダム湖）でおしどり湖ドラゴンボート大会が開催され、15チーム、174人が参加しました。

肱川地域と都市部の交流を図りながら、森林や河川および鹿野川ダムについて理解を深めることを目的とした本大会は3年ぶりの開催となりました。参加者たちは舵取り1人、伴走(太鼓)1人、漕ぎ手8人の計10人でチームを組み、450mコースのタイムを競いました。

【大葉と納豆のまぜうどん】



材料（2人分）

うどん	2玉
大葉	10枚
納豆	2パック
豚ひき肉	120g
ごま油	大さじ1
味噌	大さじ1
砂糖	大さじ2
豆板醤	小さじ1
ミニトマト	適量

作り方

- ① うどんは茹でて、水にさらし、冷やしておく。
- ② 大葉はみじん切りにしておく。
- ③ フライパンにごま油をひき、豚ひき肉を炒める。
- ④ ③にAを入れ、弱火にして半分の量の大葉と納豆と付属のたれを加えてさっと炒める。
- ⑤ 器にうどんを盛りつけ、④を乗せ、最後に残りの大葉とミニトマトをのせる。

大葉の栄養

大葉は免疫力を高めしてくれるβ（ベータ）カロテンが豊富です。βカロテンは、全身の皮膚を強くして菌が体内に侵入するのを防ぎます。

また、大葉のすがすがしい香りは胃腸の働きを促し、食欲アップの効果があるので夏にぴったりの食材です。



【レシピ提供：健康増進課】

私たちにもできる

SDGs



11番目の目標となるのは、まちづくりに関するものです。

世界的に自然災害が増加している現在、持続可能なまちづくりは大きな課題となっています。

人口の多い都市部では地震や台風によって公共交通機関がストップすると多くの人の生活に影響が出ます。また、地方では自然災害だけではなく過疎化によって、高齢者が買い物に不自由したり、限界集落と言われる地域としての機能維持が難しくなっている集落が増加しています。

そのため、地域の人口減少や地域経済の縮小に歯止めをかけるため地域の実情に合わせた効率的なまちづくりが今後の課題となってきています。

地域の暮らしやすさを向上させるための住環境整備や公共交通の利便性確保に向け、住民のみなさんもまちづくり活動に積極的に参加しながら一体となって施策を推進させていくことが必要となっています。

文化財

如法寺山頂巨石遺跡
大洲市指定史跡
大洲市所有



この遺跡は、富士山（標高約320m）の頂上付近に所在する2つの巨石からなるもので、山麓にある如法寺を開山した盤珪永琢禅師が座禅を行ったとの伝承から「座禅石」とも呼ばれています。

2つの石はいずれも平石で、長さ3.2m幅2.2m厚さ0.8mと、長さ2.2m幅1.5m厚さ0.7mの巨石です。その詳細は明らかになっておらず、祭壇石や支石墓といった説もありますが、人工的なものであるかどうかでさえ謎のままです。

昭和3年には高名な人類学者である鳥居龍蔵博士によって「高山ニシノミヤ巨石遺跡」（市史跡）などととも調査が行われ、全国的にも話題になりました。この調査がその後の本市の古代史研究に与えた影響は大きく、学史的に重要な遺跡といえます。

（昭和31年9月30日指定）